



特集 テーマ

“ボッチャ”って知ってる？

平成30年2月20日発行(昭和51年12月1日発行)

ボッチャとは？

ボッチャ クイズ

答えは左下にあるよ。

問1 ボッチャってどんな意味？

- ①ボールのこと
- ②投げること
- ③小さな点のこと

問2 どこで生まれた競技？

- ①ブラジル ②イタリア ③インド

問4 自分でボールを投げられない人も参加できる？

- ①参加できる
- ②参加できない

問3 目標球(的)となる白いボールの名前は？

- ①ホワイトボール
- ②ジャックボール



ボッチャは、身体に重い障がいのある人のために考え出された競技で、パラリンピックの正式種目です。障がいのある人もない人も、年齢にも関係なく、みんなで楽しめます。

ボッチャは、どれだけ多くのボールを白い目標球(ジャックボール)に近づけられるかを競い合う競技です。冬のスポーツのカーリングに似ています。

障がいのある人もない人も、スポーツをとおしていろいろな人と交流しよう！

する、みる、ささえる、スポーツを楽しくしよう！

障がいのある人にとってのスポーツ 障がいのある人にとっても、運動は体の機能を高めるために大切なものです。目標に向かって体を動かしたり、ほかの人と競い合ったりする喜びは、すべての人に共通です。

東御市の取り組み

東御市では、ユニバーサルスポーツであるボッチャをとおして、スポーツのバリアフリー化と地域のつながりづくりを進めています。

ユニバーサルスポーツとは、高齢になっても、障がいがあっても、大人でも子どもでも、みんなが一緒に楽しめるスポーツのことです。

ボッチャは楽しい競技です

2016年のリオデジャネイロ・パラリンピックで日本代表が銀メダルを獲得したことから広く知られるようになりました。

ボッチャは障がいのある人もない人も関係なく、勝ち負けがあっても、うれしさを体験することができます。車いすの生徒がボッチャをみんなと一緒に体験して「とても楽しかった」と言ってくれました。

する



東御市のボッチャの体験会。職員連合会、東御市スポーツ協会が主催。

みる



パラピアンメダリストの方と一緒にボッチャを体験！

障がい者スポーツは、公平な条件で競技を行うため、障がいの程度によって、用具やルールが工夫されています。

障がい者スポーツは、障がいの程度によって、用具やルールが工夫されています。さまざまな障がいのアスリートたちの活躍を、観戦し応援しましょう。

障がい者スポーツの大会

(代表的なもの) 全国障がい者スポーツ大会 障がい者スポーツの全国的な祭典。毎年開催。

パラリンピック 障がいのあるトップアスリートが出場する国際競技大会です。夏季大会と冬季大会があり、4年に一度オリンピックと同じ年に開催。2020年には東京大会が開催されます。

デフリンピック 聴覚障がいがある人が参加する大会です。

競技ごとの大会 障がい者スキー、車いすバスケットボールなど、競技ごとに世界大会があります。

スペシャルオリンピックス(SO)

ユニファイドサッカー

ユニファイドスポーツ®って知ってる？

知的障がいのある人たちにスポーツトレーニングの機会を提供したり、スポーツボランティアを育成したりなど、いつでもスポーツに取り組める環境づくりを行っています。4年に一度行われる世界大会や全国大会なども開催しています。

スペシャルオリンピックス(SO)とは？

スペシャルオリンピックス日本・長野では、知的障がいのある人(アスリート)と障がいがない人(パートナー)がチームを組んでスポーツする「ユニファイドスポーツ」という取り組みを行っています。

パートナーはアスリートを支えるだけでなく、アスリートから支えられ、お互いに尊重しあえる関係が築けます。

ユニファイドサッカー

ユニファイドスポーツ®って知ってる？

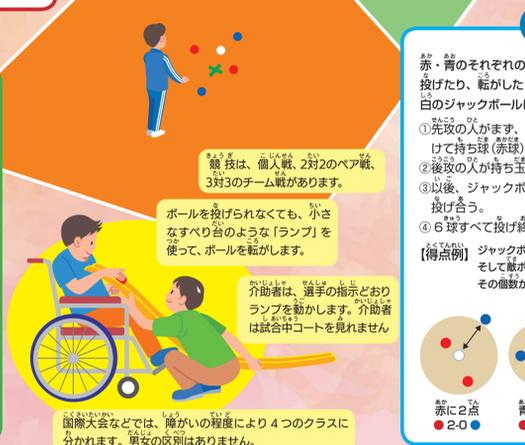
ボッチャクイズの答え

問1-① イタリア語で“ボール”を意味する単語からきています。

問2-② 6世紀のイタリアで現在のボッチャのルールが考え出されました。20世紀には障がいのある人も参加できる競技になりました。

問3-② 白い目標球は、ジャックボールと呼ばれます。

問4-① 障がいによりボールを投げることができなくても、「ランプ(拘配具)」と呼ばれる用具を使い、自分の意思を介助者に伝えることができます。



ルール

赤・青のそれぞれのボールを6球ずつ、投げたり、転がしたり、ほかのボールに当たって、白いジャックボールに近づくかを競います。

①先攻の人が、ジャックボール(白球)を投げ、続けて持ち球(赤球)を1個投げる。

②後攻の人が持ち球(青球)を1個投げる。

③以後、ジャックボールに近い方がボールを1個ずつ投げ合う。

④6球すべて投げ終えたら得点をつける。

【得点例】ジャックボールに近い方が勝ち。そしてジャックボールよりも何個近づけたか、その個数が得点となります。

赤に2点 青に3点 青に2点、赤に1点 2-0 0-3 1-2

各校のボランティア・地域活動の紹介

私たちの学校では、こんな活動をしています。

塩尻市立 桔梗小学校

「自慢できる学校」をめざして みんなの笑顔のために!! リーダーは6年生!!

桔梗小学校は、自慢できる学校をめざしています。そんな自慢の一つに、学校中で地域のために働く姿があります。毎年、6年生が率先して働く姿がお手本になっているので、今年も僕たちが頑張ってきました。学校の隣には地域の方や保育園の子どもたちも利用する広場やコミュニティ道路があります。ここは、秋になると一面に落ち葉が広がり、冬は雪で道路が埋まってしまう。こんな日は「みんなが使っている場所をきれいにしよう」と、登校後に自主的に落ち葉はきや雪かきをやっています。

児童会活動では、みんなに笑顔になってほしいと、今年も、学校花壇だけでなく、コミュニティ道路の花壇の花づくりに取り組んでいます。また、種から育てた苗を公開参観日に地域の方にお譲りしたり、寄せ植えを近くの保育園、消防署、老人福祉施設に贈ったりしています。地域の方から「ありがとう」「きれいだね」と言ってくれ、花を育ててよかった。これからは頑張ろう」と思いました。学校の自慢の一つとしてすすんで働く伝統が、これからも続いてほしいと思います。

各校のボランティア・地域活動の紹介

茅野市立 玉川小学校

フォーエバー、小泉山 ふるさとの里山、小泉山は学びの宝庫

玉川小学校の近くには、ふるさとの里山、小泉山があります。私たちは、「ふるさと玉川にまたなぶ」という願いから、小泉山に登って自然に親しみ、人との交流を深めています。毎年5月の終わりに「小泉山登ろう月間」が始まり、全校児童が姉妹学年(学級)でペアになって登ります。少しきつい坂もありますが、ペアで励まし合って登ることで絆を深め、仲良くなることができます。また、「小泉山体験の森創造委員会」という組織の地域の方々がガイドとなり、珍しい草花や虫などを見つけると丁寧に説明してくださるのでとても勉強になります。豊かな自然を学びながら、委員会の方々と交流して楽しく登ることができるので、また行きたくなります。これまでも交流をいかして、案内板を立てたり、植物や史跡のハンドブックを作ったりしました。それを役立てながら、今年も4年生が小泉山の伝説や植物・生き物(昆虫)について調べて学習を深めています。これからも地域の方々との交流を深めながら小泉山に学び、私たちのふるさとには、こんな素晴らしい自然があることを地域に広めていきたいと思っています。

あなただけの防災学習

防災タウンページを使って親子で防災学習

山王小学校の取り組み

チャイルドライン

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう!

長野県社会福祉協議会

信濃教育会